

学校名 熊谷市立新堀小学校
所在地 熊谷市新堀182番地
電話 048-533-4555

1 本校の概要

本校は、創立41年、児童283名、14学級、教職員31名の学校である。熊谷市教育振興基本計画「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」のもと、知徳体バランスのとれた児童の育成を図り、「夢を育み笑顔あふれる開かれた学校」づくりを推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

主体的な読書活動の推進のために、本校では以下のような実践を行っている。

ア ボランティアの方々による読み聞かせ

毎月2回、クラスごとにボランティアの方による読み聞かせを実施している。本への興味・関心が広がるように様々なジャンルの本を選定していただいている。



イ 読書週間の実施

公益社団法人 読書推進運動協議会が主催する「読書週間」に合わせて、秋に読書週間を設定し、読書を推進する行事を集中して行っている。

- ・「この本読んだよコーナー」の掲示



教師より



児童より

- ・読書感想文コンクール優秀作品の朗読

- ・図書委員による児童集会



集会の様子



おすすめの本のポスター

ウ 計画的な読書指導

毎週月曜日に朝読書の時間を設け、15分間クラス全員が集中して読書をすることで読書の習慣化を図っている。また、学年ごとに本の貸出しの優先日を設けることで、週に1回は図書室で本を借りることで本に親しめるようにしている。

エ 環境整備の充実

図書館ボランティアの方々を中心に、本の世界へ引き込まれるような掲示物を作成し、図書室の壁面に掲示している。



絵のすきなライオン



うらしまたろう

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 今年度はコロナ禍にあり、図書室の利用に制限があったが、優先日を設けることで9月から11月までの貸出冊数は前年度比108.73%を達成することができた。

イ おすすめの本のポスターを作成したり、「この本読んだよコーナー」を掲示したりすることで、「この本を読みたい!」という声が聞こえ、読書の幅が広がっている。

(2) 課題

読書量は増えてきているが、本を選ぶ際、挿絵や文字の大きさと本を選ぶ児童が多く、簡単で読みやすい本を選ぶ傾向が見られる。

(3) おわりに

来年度に向けて、発達段階に応じた本の紹介をするなど、児童の読書活動がさらに充実するような取組を行ってきたい。